

「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」(素案)に関する  
パブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成27年 1月23日(金)～ 2月12日(木)
- (2) 意見の応募者数 2名(男性 1人, 女性 1人)  
意見数 5件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数	0	0	0	2	0	2

2 意見の処理状況

( ) は区分併記の数

区分	処理区分	数
A	意見の趣旨等を反映し、ビジョンに盛り込むもの	(1)
B	意見の趣旨等は、ビジョン案に盛り込み済みと考えるもの	(1)
C	ビジョンの参考とするもの	3
D	ビジョンに盛り込まないもの	0
E	その他、要望・意見等	1
	計	5

3 意見の概要と市の考え方

① 将来の都市形成の方針について(2件)

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	都市拠点とは、古くからの居住地であり、今後、人口の集積を進めるエリアであることを考えると、都市拠点に集積する機能については、居住者の日常生活やコミュニティ支援に関する機能集積も必要ではないか。	A・B	都市拠点につきましては、本市の活力をけん引するような高次の都市機能を集積するとともに、ご意見の通り、都市拠点に居住する人の生活利便性も高めていくことが必要であると認識しており、より分かりやすく、本編第Ⅲ章1-(1)-ア中に「生活利便機能の集積」に関する内容を追記するとともに、施策につきましては本編第Ⅳ章1-(1)「都市拠点を形成するための施策・事業」の中で推進してまいります。
2	地域拠点における行政サービスに係る都市機能として小・中学校が例示されており、今後の少子化を考えると統廃合はやむを得ないが、学校はコミュニティの核であり、地域の合意形成を得ながら配置場所などを検討していけるよう現時点では限定しない方がよいのではないか。	C	本ビジョンにおきましては、必要と考えている地域拠点の都市機能として、小・中学校を例示したところであり、学校の配置場所などにつきましては、人口動態や居住集約の状況、地域の意見等を踏まえながら、必要に応じて検討していくものと認識しております。

② 『ネットワーク型コンパクトシティ』形成に向けた施策について（3件）

意見 番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	<p>中心市街地に人を呼び込むためには、都市拠点における市営駐車場の充実が必要であると考え</p> <p>る。</p>	E	<p>現在、中心市街地における駐車場につきましては、量的に充足している状況となっております。</p> <p>本ビジョンにおきましては、将来的に自動車での移動に頼らずに、高齢者や中高生など誰もが各拠点に気軽にアクセスできる交通ネットワークの構築を目指してまいります。</p>
2	<p>65歳以上の高齢者に対して、バス料金を無料にすることで、元気な高齢者の中心市街地への外出や消費を促進してはどうか。</p>	C	<p>高齢者の外出を促すことは、健康づくりや生きがいがづくり等につながる重要な要素であると認識しております。</p> <p>現在、本市では70歳以上の高齢者の方にバスカード等を高齢者向けの割引料金で交付し、外出の促進を図っているところであります。</p> <p>こうした取組を進めながら、本ビジョンに掲げる「誰もが公共交通を利用しやすい環境づくり」を目指してまいります。</p>
3	<p>環状線より西側の大谷街道について、観光客の集客を図るために道路を拡幅していただきたい。</p>	C	<p>大谷周辺地域につきましては、本ビジョンにおきまして、観光拠点として位置づけておりますことから、大谷スマートインターチェンジの整備・有効活用などと併せて周辺道路の利便性向上についても検討してまいります。</p>